

平成 29 年度職員採用試験（大学卒業程度）
水産 専門記述試験（29. 6. 25）

次の 2 つの課題のうち、いずれか 1 つについて回答しなさい。

＝ 課 題 1 ＝

○水産資源の増大と漁業経営の安定化について

広島県では、産業として自立できる農林水産業の確立を目指し、水産資源の増大と担い手の育成に取り組んでいるところです。

漁業生産においては、その生産過程のほとんどを海の生産力に依存しており、その生産力を有効に活用して、どのように所得の向上を図るかが大きな課題となっています。

瀬戸内海の水産資源及び海域環境の現状を踏まえ、漁業経営の安定化を図るため、どのような取組を進めるべきか、次のキーワードを活用し、あなたの考えを具体的に述べなさい。

【キーワード】

○漁業資源・海域環境

○栽培漁業

○資源管理

○藻場・干潟

○ブランド化

○漁業所得の向上

＝ 課 題 2 ＝

○漁業資源維持のための取締船の運航について

本県では、水産資源を持続的に利用するため、資源管理型漁業の推進に取り組んでいますが、潜水器などを利用した違法操業による乱獲の実態もあります。

漁業秩序を維持し、資源を適正に管理していくための漁業取締のあり方や、漁業取締船の運用について、次のキーワードを参考に、あなたの考えを述べなさい。なお、本県の漁業取締船の主要目等は、下記のとおりです。

【キーワード】

- 資源管理 ○安全確保 ○夜間航行
- 適切な見張り ○発航前検査 ○ディーゼル機関
- 航海機器

【本県の漁業取締船の主要目等】

- ① 船体 アルミニウム合金製 ステップ船首付きディープVオメガ型
全長：20.71m 幅：4.60m 深さ：2.26m
喫水：0.94m 総トン数 29トン
- ② 主機関 単動4サイクル直接噴射式ディーゼル機関 2基
- ③ 推進器 LC型5翼固定ピッチプロペラ
- ④ 航海計器ほか 2舵連動型操舵装置, GPSコンパス, 磁気コンパス, 多機能レーダー, DGPS航法装置, 真風向風速計, プロッター魚探, キセノン式探照灯
- ⑤ 性能 航海速力 35ノット以上
- ⑥ 船種 第4種船
- ⑦ 航行区域 平水区域
- ⑧ 乗組員 船長を含み5人